

城坤コミュニティセンター 市長と語る会

日 時：令和 6 年 10 月 10 日（木） 午前 10 時 00 分～11 時 17 分

場 所：城坤コミュニティセンター

参加者：17 名

担当者：市長、地域担当職員【満尾（男女共同参画室）、山中（まなび文化課）】塩田（秘書課）

1. あいさつ

（所長）

ただいまより「令和 6 年度みんなでまちづくり市長と語る会」を行う。最初にコミュニティ会長から願います。

（会長）

お忙しい中お集まりいただき、御礼申し上げます。今日は選りすぐられた人が集まっており、密度の高い会話ができると思う。市長をはじめ市から出向いていただき、1 時間程度になるが色々な意見を出して交流したい。要望も出てくると思うので、率直な生の声を市長に届けて改善に繋がればと思っている。事前要望は渡しているが、今日は時間の制限があるため、意見を出したが話がなかったということもあるかもしれない。ご了承願いたい。

城坤地区の一番の問題点で市長とぜひ話したい項目を絞ってみると、関心が高いのは防災と減災。水害が起こらないためにはどうするかということは、自治会でも自主防災会の会でも意見が出る。その辺のところを話していきたい。県と国に西汐入川の海側に大きなポンプを設置してほしいと要望を出しているが、県からはそういうチャンスがないということで、どうしようかと思っている。

避難所は城坤地区に 7 ヶ所があるが、避難所に来た時にどう対応するかという各避難所の運営について検討している最中である。避難所で使えるような用具は、コミュニティや自治会の予算の範囲ではとてもできない。この点については市の方が予算を取ってもらって、用具についてはぜひ取り揃えていただきたい。災害が起こったら国と自治体が率先して支援していくという流れであり、それが原則だと思う。コミュニティが費用を出して準備するのは筋が違うという意見も大分大きくなってきている。防災や避難所の環境整備、これを市の方にもぜひ言って欲しいという声が相当出ている。

もう 1 つは、特に塩屋地区で家が密集した古い街並みが残っている。もし地震が起こったときは逃げ場がない。避難所の話より前に、経路を塞がれたときにどうするかということが一番大きな問題。都市開発の関係があると思うが、何かいい方法がないかぜひ聞きたい。

城坤地区の自治会は大体 40%を切るぐらいの組織率。防災にしてもコミュニティがやっていることを反映するのは、自治会の範囲でいうと 2600 世帯ぐらい。春や秋の祭りには参加するが、約 60%の世帯が、コミュニティからの肝心な情報が届かない。いろいろ検討はしているが、約 40%がほとんどコミュニティと直接の連携ができない。市の方でも連携する方法が何かあれば教えていただきたい。その辺に絞って。今日は厳しい意見も出るかと思うがよろしく願います。

(市長)

城坤の方々には、日頃から丸亀市政の運営に対し、ご理解とご協力、またご支援をいただいております、心から感謝を申し上げます。また、地域担当職員として、満尾さんと山中さんが大変お世話になっている。感謝申し上げます

能登の七尾市は3つの町が20年前に合併しており、先日、20周年記念式典に来賓として行ってきた。町並は家が倒れたままというところもたくさん見られた。特に上水道と下水道は復旧工事がまだ進んでいない。

有名な和倉温泉などの護岸が、大体数10cmから1.2mぐらい下がっている。護岸というのは国や県の持ち物であり、国が直すことが多いが、和倉温泉の大きい旅館などは、護岸までが全部私有地である。七尾市長から、国が法律上は手を出せないという形になっており、やはり国の土地の護岸工事をすると同時に、私有地のところも今回は特例としてやってくれないといけないということを、一番の問題として国へお願いをしていると聞いた。

先ほど会長からも防災関係のことが出て、この間行ったばかりであったのであいさつの中に入れてさせていただいた。今日は忌憚のない厳しい意見をどんどん言っていただきたい。

2. 意見交換

(所長)

本日のテーマ「まちづくりは人づくり」について、市長から今年度の重点プロジェクトのご説明いただき、関連する質問、またそれ以外の項目での意見交換等の流れにしたいと思う。

(市長)

令和6年度の重点課題として、私がずっと思っていた「まちづくりは人づくり」を打ち出した。丸亀市では将来を見据えての人づくりを推進して、市民が主体となった協働のまちづくりをさらに進めるということである。4月から協働推進部という新しい部を作った。

私が市政運営を進めるにあたって本当に大事なものは人づくりだと常々思っており、その人づくりがまちづくりの土台となると考えている。そこで官民協働、誰もがまちづくりに参画できる環境を整え、持続化可能な丸亀市を協創していこうということを言葉でもしっかりと打ち出した。

いつ起こるかもしれない南海トラフ地震、大規模災害の備えとして、自治会や自主防災組織、地域住民による共助の取り組みが大変重要になってくる。皆様方のご承知の通り、この地域力により、国や県の助けが入る前の最初3日間を地元でどうにか頑張れるという、能登でもそういう教訓をしっかりと再認識されたところである。丸亀市としても、地域の皆様と一緒に元気で活力あるまちづくりにしっかりと取り組んで参りたい。

具体的な予算について簡単に説明すると、自治会加入率の低下と、コミュニティ活動などの地域活動の担い手が不足して苦勞している、だんだん高齢化になっているというお言葉を、どのコミュニティからもいただいている。

その中で、地域で元気なまちづくりに取り組むために、昨年度まで自治会 1 件あたり 300 円出していた補助金を、今年は 1 件当たり 600 円、倍にした。金額にしたら数万円であるが、私や市の思いとしてお汲み取りいただければと思っている。

もう 1 つは、自治会長に手当を出しているが、各自治会長には本当によくしてもらっており、現実のところは、会長の持ち出しもあると思う。そういった部分で、自治会長手当を微々たるものであるが、上乘せするという形をとらせてもらっている。

先ほど話した能登大地震で、丸亀市は 1 月 5 日から 7 月 1 日まで毎日職員 3 人を派遣した。荷物の受け取り、またそれを仕分けして各避難所に送るなど、ゴールデンウィーク中や土日も全部含めて、何らかの形で七尾市のお手伝いをするという形をとり、延べ 140 人を超える人間が被災地に入った。丸亀市と丸亀市観光協会で、うどんの炊き出しも 2 日間行った。

また、土木技師の職員を 4 月から 1 年間派遣している。まだ決まっていないが、状況によってはこの後も許す限りの職員の派遣を進めていきたいと考えている。

それともう 1 つ、人づくりというとやはり教育のことになる。コロナ禍の 3 年 4 ヶ月、行動制限があった中で、学校はたくさんお休みがあった。原因はそれだけではないが、行動制限が解かれてから現在も、全国的に不登校の子供がコロナ前の 2 倍となっている。

丸亀も全国平均と同じで、私も教育長も本当に何とかしようということで、今年 4 月から「人づくり石垣プロジェクト」に取り組んでいる。丸亀市独自の予算約 1 億 3000 万円で、小中学校の講師の先生、支援員、補助員、スクールソーシャルワーカー、そして指導する元校長先生や相談業務をするような人たちも含めて全部で 51 名を、この 4 月以降に新たに雇用した。

お城が 6 年前の 7 月 7 日に崩れて、今年 8 月から石垣を積み重ね始めた。石垣は 400 数十年前に積んだものと同じように 1 つ 1 つ丁寧に積むように国から指導されているので、それになぞらえて、子供たちにも一人一人丁寧に学校の先生が直接対面してお話する時間を確保できるようにということである。これまでも丸亀市は講師の先生方を丸亀市費で雇うということは他の自治体より多かったが、それにプラスアルファして、今後 5 年間取り組むことにした。

約 1 年前に教育長に“次年度予算で講師や支援員補助員をたくさん雇ってほしい”という話をすると、予算がついても担ってくれる人がいないのが一番の問題であると言われた。皆様ご存じの通り教育界も厳しいため教員試験を受ける方もすごく減っており、大変ブラックな職場だとよくマスコミでも出ている。学校の先生は子供たちを育てる、人を作っている本当に聖職だと思っているが、疲れ果てて、退職したら講師では残らない先生がたくさんいると聞いた。そこで教育長自らが一人一人にこういう状況なのでどうか良くしたいということをその先生方に伝え、今現在 51 名雇うことができた。これもまちづくりは人づくりの顚れだと思っている。

正直言うと、ここまでしているまちは私が知っている限りはなかなかない。教育委員会の先生方が本当に苦勞されて、これだけの方を雇ってもらったのも事実であり、子供たちに対して一生懸命取り組んでいる。

最後にもう 1 つ人づくりの観点で言うと、今年度の予算は、学校関係の建築費、土木費の投資的経費が 200 億を超えている。前年は百数十億であったので、今までないような建築のお金を投資し

ている。学校関係だけはしなくてはいけないと思う。トイレの古さなど言われているが、やはり丸亀全体の学校建物がちょうど 50 年を迎えており、調査をすると悪い部分がたくさんあるので、予算をつけて改築または大改修を行っている。城坤小学校もその中の 1 つであり大改修をするが、二、三年間は辛抱してもらい、よりよい学校にしていくことに惜しまず予算を投入していく。これも人づくりに対しての気持ちである。

市長はお金使いすぎだと言われるが、議会に中期財政フレームといって向こう 10 年間までの丸亀の財政計画を説明した際、実質赤字比率、将来負担比率という数字を毎年 1 回出すが、これは 3 年連続でほんの少しであるが以前よりは改善していることも報告をしておく。こんなにお金を使ってなぜそれが改善できるのかというと、1 つは皆さんご存じの通りボートレースの収益がある。それともう 1 つは、私は 7 月に 12 日間東京に行き、国土交通省や財務省、文部科学省などいろいろなところに陳情とお願いをしてきた。10 月、11 月も陳情に行き、国・県からもしっかりと予算をいただきながら、いろんなことを進めている。

長くなったが、以上の形で「人づくりはまちづくり」に取り組んでいっている。

(所長)

今日の懇談会は 11 時終了予定としている。これから意見交換をメインにやりたいと思うので、今の市長のお話に対する意見交換として、質問のある方は挙手にて願います。

(コミュニティ 1)

人づくりの中の教育の話で、51 人の退職された先生方を雇ったとあったが、具体的にはどういうことをやっているのか教えていただきたい。

(市長)

退職された先生方は講師で、講師の場合は主に授業まで全部していただく形をとっている。

(コミュニティ 1)

それは学校の先生の数が足りない状況もあるということか。

(市長)

学校の先生は、国の規定通りの人数はそろっている。しかし、授業以外でたくさん手間暇がかかっているのが学校である。例えば、問題があると、その家庭まで行く場合もある。また、不登校の子供がいて、校門までは来ているがここから入れないと言ったら、担任の先生方はそこまで行って話をしたりなどするが、その時は授業ができない。講師の先生方がたくさんいたほうが、状況に応じて対応できるので絶対助かるというのがひとつ。

それと支援員と補助員というものがあり、これは教員の資格がなくてもできる。まず支援員は、その子供 1 人に 1 日付く。障がいのあるお子さんも城坤小学校に通っており、そうになったら支援員をつけるという形をとる。補助員は、授業中の教室の中で見回りをする。ものすごく重宝されている。ここは教員資格がなくてもできる形で丸亀市は雇っている。

その他として、学校であった問題や保護者からの意見などは、学校や教育委員会で対応している

が、問題解決のため、スクールソーシャルワーカー、学校に関する問題点の相談員も雇っている。

(コミュニティ 1)

例えば丸亀市の小中学校で、いじめの問題がどれぐらいあるのか私たちは全然わからない。そういうところも含めて、結局どこの県でも自殺したら学校は知らなかったという話が出てくる。今丸亀市ではその辺の状況はどうなっているか。

(市長)

いじめではないが、丸亀市の学校では新聞、ニュースにも載るような事件等があった。逮捕された先生もあり、これは大変申し訳なかったと思っている。報道とまではいかないけれど少し問題だということもたくさん起こっており、全て私のところに報告は来るが、正直本当に大変だなと思う。

(コミュニティ 1)

人づくりの話の中にいじめをどのように取り入れていくか、やはり大きな課題であると思う。その辺も含めて市長にはお願いしたいと思う。

(市長)

今は担任の先生が中心となり対応していて、担任、副担任だけでは全然手が回らないという状態なので、まずは人を増やすということを丸亀の予算でやる。県からも講師の先生方、補助員、支援員の予算をいただいているが、それでも足りないのでプラス 51 名を投入したということである。今言われたことを教育委員会と一緒にしっかりやっていく。

3. 質問

(コミュニティ 2)

塩屋町の外浜団地辺りは、後期高齢者の足がない。コミュニティバスの路線が通ってないので、免許返納とは言われているが無理して車の運転をされている。都市計画課へ陳情に行くと、琴参バスとの関係で路線変更ができないと言われたが、コミュニティの路線を作ってほしいというのが地域の願い。スーパーはトライアルができたが、病院に行くのは不便で、通院する時間とかに 1 日に何便か作ってほしい。広い団地と個人住宅があるが、ほとんどが高齢者。車に乗れなくなったら陸の孤島という感じである。タクシーも高くて経済的負担となり困っている。路線変更を何とかお願いしたい。

(市長)

今言われたことは切実で、高齢者の移動手段がないということは、これだけ高齢化社会になってきたらどんどん出てくる。外浜、塩屋地区は道が細い。今、郡家でデマンド交通という形で乗り合いタクシー実験をしている。これは本当に便利で 300 円と安いからたくさん乗ってくるだろうと思っていたが、全然乗ってくれない。

2千数百万かけてAIも入れてやっているが、1日に2台の車にそれぞれ2、3人。十分周知も行い、コミュニティセンターで呼び方についての説明もした。これは本当にどうしたらいいか。

(コミュニティ2)

城坤コミュニティのお出かけ便はあるが、予約をしなくていけない。病院の診察が予約で決められたら、予定が合わず、せっかくあるのがもったいないが利用するのに不便。

(市長)

コミュニティバスは、予算をつけても現実問題として運転手がいらない。運転手がいらないため綾歌の方の路線で一部10月からカットした。ものすごく叱られているが、運転手がいないので、確保するのにバス会社も必死である。

(コミュニティ2)

コミュニティバスは出ているので、路線を一本通していただきたい。外浜団地の間の広いところは乗り降りができると思う。

(市長)

団地の中まで入るのは無理だが、言われている外浜の、シルバー人材センターがある通りはわかる。

(コミュニティ2)

あそこまでであれば、地域の人も歩けると言っている。

(市長)

運転手不足で綾歌で路線を削除したのも現実で、今すぐにはできない。今言われた部分も話はしておく。コミュニティバスはそのような現状で、全国でもやっているデマンド交通は、ものすごくお金がかかって、そんなには乗ってくれない。他にもっといいものと言ったら、タクシー補助金を出した方が便利に使ってくれるのではないかと、簡単に考えたらそう思う。しかし、それはデマンドよりもものすごくお金はかかる。

(コミュニティ2)

今日明日と言うわけではない。増便の方向に市の方がしてほしい。

(市長)

よくわかった。

(コミュニティ3)

お出かけ便の話だが、城坤コミュニティも運転してくれる人が不足している。先日渡辺議員が来て、家は土器の方であるが、城坤のお出かけ便を運転してくれた。こういうのを見ると、地元の人をもっと協力しなくてはいけないと思う。現在、お出かけ便の動きはいっぱい、私も毎週病院へ行くのをお願いしているが、車をもう1～2台増やして、運転する人がもっと増えればまだいけると思う。

(コミュニティ2)

知らない人が多いのもっと PR する。申し込みの方法等をコミュニティ広報に載せて、みんなに知ってもらおう。

(コミュニティ3)

私の家近辺も道が狭く、幅 4m。南の方に市の体育館があって、新しく多目的広場ができた。向こうからどんどん車が出てくる。私の家はその道路のすぐ横にあって、家、あるいは反対の家に入ってかわす。

この前もある家の人が、車を出している際、南からきた車と事故を起こした。あれだけ家が建っていれば道路の幅を拡げるのは無理。その横に 40 センチの水路があるので、水路の所々でかわせるようにと市役所に話をした。そういう風にして当面はやっていかなくては仕方ないと思っている。よろしくお願いします。

(コミュニティ4)

水害について、去年一昨年私の団地の中は水没して、床上下浸水する事態が発生した。昨年度、市で農業水路のかさ上げ、拡張、バイパス水路を作っていただき、今年度は水害がなくなっている。4 月以降ゲリラ豪雨が 4 回ほどあり、その時に駐車場あたりに逆流した水が流れてくるようなことがあったが、水害にはいたっていない。これは市役所の大きな工事のおかげである。

しかしこの工事の結果、拡張した水路に水が流れてきている。この水は西汐入川に流れ込んでいく。西汐入川は大きな水門を作って改良工事を行っている。台風やゲリラ豪雨の時と満潮時が重なれば、西汐入川の末端のところの水門は、国土交通省の排水ポンプを設置して満潮時には排水をするような体制を整えていたが、今はないそうである。

豪雨の時の西汐入川の末端の水門にはなかなか見に行くことができない。土器川、金倉川はライブカメラが設置され、パソコン等で水害が発生する状況が見えるようになった。9 月からは国交省と丸亀市、香川大学の共同運用で、新田地区にも三ヶ所の浸水センサーが設置された。丸亀市内にどのぐらいの浸水センサーが設置されているかお聞きするとともに、西汐入川の水門に市民の方が見えるような丸亀市独自のライブカメラ設置をお願いしたい。

今、新田地区や多くのところでアパート建設が進んでいる。アパートの汚水については下水に流すのかどうか、認可する 1 つの条件になると思う。私の前のアパートは、何に使っているかわからない水が水路に流れている。数年前、近所で同じようなことがあって何年もかかってようやく解決したところである。今回またそういう事態であれば、最善の解決策等のご協力をいただきたい。

(市長)

大雨の際は、本当は行ってはいけないが、心配になって見に行きたくなる。しかし危険なので、そういう時にはライブカメラがあればということ。浸水センサーは、今後県が 50 台程設置する予定。カメラの設置は本当に重要だと思う。西汐入川は県の管轄になるので、県の方にも要望していく。

9 月に台風 10 号が来た時、丸亀は本当に運よく被害がなかったわけであるが、香川県内では東

かがわ市に警報が出て、1 時間 50 ミリの雨が 3 時間降り続けた。人的被害はなかったが、香川県内で大きい線状降水帯ができたのは初めて。

そのあと、国土交通省の河川国道事務所の所長と色々な話をした時、“東かがわ市で降った雨が土器川上流で降ると、土器川は水が溢れる” 溢れるという表現であったが、それは土器川の決壊も十分有り得たかと質問したら、水が溢れるのでもし弱い部分があると決壊をする可能性があった、という話を聞いた。もちろんこれは土器川だけでなく、金倉川、西汐入川や、大東川など県の河川も、全部溢れ出る形になる。溢れるだけの雨量が香川県にも降る時代になっていることを再認識し、危機感を持ちながら職員に話をした。西汐入川については要望する。

もう 1 つの汚水の流れは、どの場所かを後で職員が詳しく聞く。金倉川から西か。

(コミュニティ4)

城西高校の近辺。建築段階で汚水を下水へ流す許可を与えると思うが、それが今流れておりずっと湿っている。

(市長)

普通であれば合併浄化槽を通して流す、あとは下水に流す、どちらかだと思うので後で場所を特定し担当へ伝える。

今、市をあげて災害対策にお金をかけ対応する計画を立てている。しかし、雨の降り方や気候は驚くほど変わってきている。今まで香川県で降ったことがないような雨が、ここ 5 年ぐらい前から降り出した。特にこの前の局所的な雨も丸亀に被害がなかったことが不思議なぐらいであった。

(コミュニティ4)

去年、城坤コミュニティの Facebook にも何回も載せた。今年 5 月、9 月の集中豪雨のときも、水門の辺りの写真を載せた。今までにないような量が西汐入川に流れている。福島町の方と話をすると、水門が決壊すると全滅する、と。塩屋地区の保育園近辺も低いので、全部水没するという危機感を持っている。ここが解決しても川下の方が不安がっているということで、ライブカメラを要望したい。

(コミュニティ5)

今、自主防災で避難所について検討している。金倉川が洪水になったら、塩屋町はほぼ湖状態で、その時に外浜団地は湖に浮かぶ孤立した建物になってしまうので、避難所の指定にはなっていない。唯一の避難場所が塩屋保育所となっているが、保育所の 1 階が浸水しそうな感じで、2 階だけが避難場所ということになれば、330 名ぐらいの避難人数に対して 170 名ぐらいしか塩屋保育所は入れない。後の人はどこへ行こうとなっているので、塩屋保育所だけでも西汐入川の堤防を高くするなどして、1 階の浸水がなくなったらと思う。

2 点目は、塩屋町は J R の高架ができて人身事故がなくなり、本当にありがたいと思っている。東西への駅への交通も良くなり、南北も道が太くなって浜街道もできて、高松や 11 号線へ行くのに非常に便利になったが、肝心の町中がまだ江戸時代のままである。

唯一の道が御坊さんの前から東西に抜けているあちこち鍵になったような、車がなんとか 1 台通

る程度の道しかない。その裏側の道は車が何とか1台入ってくるが、Uターン場所がない。この間、高松ナンバーの車が、知らないからだと思うがずっと側面を傷だらけにしながら抜けているのを見た。できれば塩屋の本通りの裏の道に3ヶ所か4ヶ所ぐらい、とりあえずの処置としてUターン場所をお願いしたい。

もう1つ。小野クリニックの横で市街地の再開発ということで、空き家や空き地で道をつける案があったと思うが、塩屋の東部は空き地空き家が増えており、その辺を利用して南へ車が通れる道が一本でもできれば。私の自治会の中でも避難時に、6、7軒が南へ抜けられる路地は、家が傾いて通れなくなって逃げられない。他の自治会の人には塩屋保育所、城坤小学校に行っても、何軒かだけは創価学会の丸亀文化会館へ行かざるをえない。道をつけることは個人の所有でなかなか難しいと思う。昔も何回か計画があったが実現しない。周りは便利になったが、肝心の核になるところに道が全然ない。時間をかけてでも達成していただけたら本当にありがたい。

(市長)

私は子供の頃、塩屋の友人の家で遊んでいて、塩屋の祭りから西と東の太鼓台のかけ合いなどを見ていたので、今言われたことは切実にわかる。車を擦るのも、やはり他所からの人はそうになってしまうことも全部わかる。それがいつできるかわからないが、再度、都市計画課にもこの話をする。

(コミュニティ6)

時間がオーバーしているので言うだけになるかと思う。西汐入川の洪水の話であったが、西汐入川には色々なごみが捨てられていると思う。以前に比べたら良くなってきたが、ペットボトルとかそういうものではなく、農家が使っているような肥料のビニール袋や野菜や果物などが、ちょうど塩屋保育所のあたりごみが捨てられている。子供たちが鳥や亀を見に行ったりしている辺りに引っかかっている。道を歩いている人だけではなく意図的に捨てているのか、そういうごみに対する呼びかけをもう少ししていただきたい

それから、アパートがたくさん建ってきている。10年後20年後、アパートあるいは新しい家が空き家にならなければいいと思う。計画を立てて、アパートや住宅の許可を出しているのか。アパートのオーナーが他県の人だと聞いたので、丸亀市への税収入はそこから落ちてくるのか考えたりするが、スーパーやコンビニもどんどん新しいのができてきているのとは逆に、空き地空き家も増えてきているので、都市計画は先のことを考えてぜひお願いしたい。

(市長)

西汐入川は本当にその通りだと思う。これは啓発するような形を取りたいと思う。

それともう1つ、アパートや家がたくさん建っていること。丸亀南部もたくさん建っていて、人口が減っているのにどうしてこんなに建つのかと思うが、それだけ空き家が増えていく。これもよく言われるが、浸水は田んぼを開発して宅地に転用していったからというのも現実にあると思う。今の時点では、法律に合致していれば、許可をするしかないという部分もあるが、都市計画の中では、その辺も考えたまちづくりをしっかりとさせていただく。すぐにそれが反映できるかどうかかわからないが、ご意見に感謝申し上げます。

(コミュニティ3)

これは市長へのお願いではなく、コミュニティセンターへお願いしたい。今、たくさん団地ができています。城坤の自治会の加入率が下がってきており、60%あったものが今は40%切るぐらい。これは今までいた人が外へ出て行くということではなく、人口が増えているから結局加入率が減っていく。家が増えているのに、その人が加入してくれないと加入率は下がる。いまだに大変多くの団地ができており、今がチャンスである。今できている団地1軒1軒回って、自治会加入促進は絶対必要。今やっておかないと、人口減少で人が増えなくなったら絶対できないので、ぜひお願いしたい。

もう1つ、この前の大型台風の時に、市役所に土のうを取りに行った。私自身は車を運転しないので、人に頼んで取ってきてもらった。ぜひ地元のどこかに小屋を作ってもらって、その中に土のうを置いておくと近くの高齢者でも取りにいける。幸い使うことはなくて今は家にあるが、出来たら各所に土のうを置いてほしい。

(コミュニティ1)

最後に、天満町の市の土地について。毎回市長とのお話では出しているが、市の土地がせっかくあるので、10年20年ぐらいの計画で防災や公園など、いろんな形で防災と両方含めたような形で有効活用の検討を何とかお願いしたい。毎回になるが、よろしくお願いします。

(所長)

予定より10分ほど過ぎたが、これで終わりたいと思う。

(市長)

先ほどの土地、また土のうについてはしっかりと検討する。あの土地は公園にするにしても地上げをしなければいけないが、地上げしたら水の行き場がなくなる。どうしたらいいか、また考えていく。

本当にたくさん貴重な意見をいただいた。一生懸命取り組んでいこうと思っている。今日、皆さんの言ったようなそういう時代になってきている。丸亀の中で開発が進んでいるところは、城坤地区と城南地区。それだけ開発が進んでいるので、いろんな問題も起こってきていると思う。しかしながらまちづくりという点では、元気なまちづくりになっていると私から見ても思っている。皆様方はその中心の方々であり、もちろん市も一緒になってやっていく。例えば総合運動公園に、スケートボードとバスケットボールの3×3コートを作った。たくさんの方が夏の炎天下でも来られる。夜9時まで利用できるが、市側の管理は、朝開けて夜閉めに行くことと掃除はしている。それ以外の管理はしていないが、大きい問題もなく上手に使ってくれている。そのような形で城坤地区の開発が進んでいることも事実なので、引き続きどうぞ皆さん、まちづくりをよろしくお願い申し上げます。

(会長)

貴重な時間を10分越えての開催に感謝申し上げます。いろんな意見が出たが、細かい点もあり、将来的なこともあると思う。市長も大分認識をされたと思うが、城坤地区の特徴に合わせて災害に

力を入れてほしい。

最後に夢のような話かもしれないが、天満町の市所有の空き地について。あそこを地上げして、いざという時に避難所として使えるような設備があって、通常でも使える形に。特にヨーロッパの方では避難建物ができて、そこへ行ったら寝るところもあり台所も付いている。避難所専用の建物も見本という形で作られたらどうかと思う。日頃はコミュニティのような使い方をして、いざという時は部屋もあり備蓄もあるという、災害に対する先行投資を長い目で見て考えて欲しい。高知も津波のためにらせん状の高い建物を作っているが、そこで何日も過ごせない。そうではなく、日頃はコミュニティのような使い方ができる避難所専門の建物を 1 つのサンプルで作って欲しいと思う。他の国のことではあるが好評らしい。とにかく 1 つは、そういうところがあるというだけで住んでいる人は安心する。夢のような話かもしれないがぜひ前向きに検討していただいて、サンプルとして全国にアピールするぐらいのつもりでやってほしい。よろしくお願いします。